

広報

あさひまち

ASAHI-MACHI

9

平成9年
(1997)
月号
NO.490

200年の時空を超え
今、壮烈に舞う
大谷風神祭 (8/31)



今年の夏まつりは 夜祭りに挑戦

りんごの町の夏まつりが八月十日、宮宿商店街大通りで開催されました。今年のテーマは「夏にひびけ夜空をこがせ」。午後五時の花火を合図に、夏まつりがスタートしました。

フリーマーケットでは、開店時間前から多くの人々が訪れ、お気に入りの商品を購入していました。いなくなった物を再利用しようという目的で始まったフリーマーケット。人と人との新たな交流も生まれるなど、出店者とお客さんとの間には笑顔の花が咲いていました。

また、子供向けのイベントでは、八十歳の専用コースを激走するミニ四駆大会や〇×当てクイズなどが行われ、優勝者にはマウンテンバイクなどの豪華賞品がプレゼントされました。

夕方になるとステージに明かりが灯り、町内十二団体による郷土芸能の共演が行われ、会場を訪れた多くの人々を魅了していました。

そして午後七時三十分、花火大会が始まり、夏の夜空を彩る光と音は、いつまでも私たちの心の中に響き渡りました。

新たな祭りへの挑戦

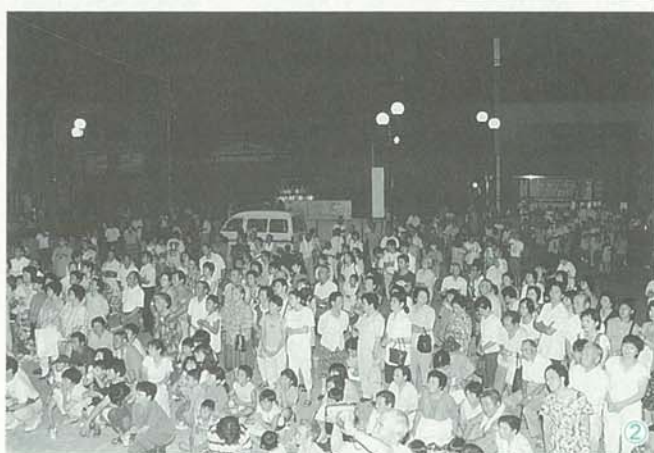
第二回りんごの町の夏まつり



①



③



②



④

- ①夏の夜空を彩った150発の花火
- ②郷土芸能の共演に見入る観客のみなさん。当日は宮宿商店街大通りに約4,000人の観客が訪れた
- ③昔ながらに伝わる郷土芸能の共演と夜祭りがかもしだす神秘的な雰囲気が祭りを盛り上げる（写真：角田流八ツ沼獅子踊り）
- ④今年で2回目となるフリーマーケット。どの店にも笑顔が満ちあふれていた

合言葉は「みんなで
楽しく遊ぼうよ」

今年で二回目となるりんごの町の夏まつりは、これまでのような行政主体のイベントではなく、町民が主体となって開催する手づくりのイベントです。

きっかけは、平成七年度に開催された二十歳から三十歳代の若者たちによるまちづくり討論会。「ダムまつりがなくなってしまうと町に活気なくなってしまうわね。みんなで集まって騒ぎたいわね」という何げない一言が、会議に参加したすべての若者に波紋を投げかけました。「自分たちのやりたいことを企画し、実施することができれば最高。町は金銭面をバックアップしてくれればいい」という熱い思いが町を動かし、夢を実現するにいたりました。

実行委員会のメンバーは農業、会社員、自営業、主婦とさまざまな職種の方が集まりました。会員たちは、それぞれ家庭や仕事を抱えているので、忙しい合間をぬって集まってきました。そんな実行委員が持つ共通の思いは「みんなで楽しく遊ぼうよ」。これを活気ある町づくりの原点と考えています。



- ① 法被姿が勇ましい「宮宿若衆豊年みこし」
- ② 見事な「ばち」さばきの「和合小太鼓」
- ③ 町連合婦人会による「朝日町小唄踊り」
- ④ 米の豊作を祈って踊られた「水口弥十郎田植踊り」
- ⑤ 迫力満点の「宮宿小豊年太鼓」
- ⑥ 荒々しい舞に会場は興奮のるつぽと化した「大谷神楽」
- ⑦ 見事な踊りを披露した「角田流ハツ沼獅子踊り」
- ⑧ 風神太鼓保存会（大谷三）により守り続けられている「大谷風神太鼓」
- ⑨ こっけいに舞う「大黒舞」に会場は笑いの渦
- ⑩ 今年新しくなった「四ノ沢子供みこし」
- ⑪ 息の合った踊りを披露する「角田流大谷獅子踊り」。今年で大谷獅子踊り保存会が発足25周年を迎えた
- ⑫ 紅白衣装の巫女が舞う姿は、まさに霊峰朝日にそよぐ空気の精 和合小児童による「空気神社巫女の舞」

郷土芸能に 触れてみる

今年の夏まつりの目玉の一つに、郷土芸能の共演があります。

町には昔から伝わる郷土芸能があります。「水口弥十郎田植踊り」や県指定無形民俗文化財の「角田流大谷獅子踊り」、「角田流ハツ沼獅子踊り」など。

しかし、町内に住んでいながら見る機会がなく、全く知らなかった方もいると思われまふ。

そんな方のために一堂に会し共演することで、目で見て耳で聞いて体で感じてもらうというものです。みなさんの中には「こんなにはすばらしいものだったのか」とか「これまでと違う一面が見られた」などと、感じた方もいるのではないのでしょうか。

ここでは出場した全団体を写真で紹介し、二つの角田流獅子踊りの生い立ちを紹介します。

■角田流ハツ沼獅子踊り

角田流ハツ沼獅子踊りは、天文年間（一五三二～一五五四）八ッ沼城主原甲斐守平重忠音楽を好み、なかんづく角田獅子踊りに執心し、よって家臣松田忠利をして、付け人数名と共に都の楽士角田の某を招き、諸子に伝えた」と記録されており、これがハツ沼獅子踊りの初めと



いわれています。

現在は、毎年八月十五日に春日沼のほとりに鎮座する春日神社祭りに奉納演出されています。

構成は、青獅子頭に切幕の雄獅子・雌獅子・友獅子が、角花笠の日・月・星の飾りをつけた先立太鼓・中立太鼓・後立太鼓と、すげ花笠の歌師、笛吹き獅子踊りです。

以前は、八月十五日前後に氏子をめぐり踊り歩いたともいわれています。

■角田流大谷獅子踊り

文化年間（一八〇四〜一八一七）天満神社の別当であった白田外記家の三十一代にあたる清安が、仙台藩伊具郡角田の切幕獅子を取り入れて、現在の角田流獅子踊りが行われたと伝えられています。

現在は、二十日前夜の（八月三十一日）風神祭で、白山神社境内と大谷地区内で奉納演出されています。

構成は、雄獅子・雌獅子・友獅子の三匹と、日天・月天・星・風太鼓の四つと笛五人の獅子踊りです。太鼓は赤い鏡幕のついた四角の箱をかぶっています。笛はすげ笠姿で、歌は太鼓たたきが歌い、歌師をかねています。

二十日前後の暴風雨の被害をのがれ、秋の豊作を祈願したものです。



新たな挑戦が 伝統へと変わっていく

この夏まつりは、だれからか強制されて行われたのではなく、すべて自分たちの意思によって行われています。

やはり初めは失敗の連続で、あきらめかけたときもあったそうです。「つぎはぎだらけでも失敗を恐れず、まずはやってみよう」という、半ば開き直りの精神が新しいアイデアを次々に生み出し、これまでにない独逸色のある祭りができあがっていました。

「朝日町は活気がなく楽しくない町だよね」と思っている方いませんか。それは自分自身に活気がなくなっているのかもしれない。何事にもチャレンジする心を忘れずに夢を実現していくことが、自分を高めることになり、ひいては活気ある町づくりのための第一歩につながっていくのではないのでしょうか。これからさらに発展し続けていく「りんごの町の夏まつり」。奇想天外なアイデアが、本当に実現してしまう不思議な祭りです。新たな挑戦が伝統へと変わるの、そう遠くない気がします。



暴れ獅子の意地と プライドをかけて

鈴木 昭由さん (大谷三)

大谷神楽といえば「暴れ獅子」。初めて明鏡橋を渡り大谷以外の地で舞いましたが、意地とプライドをかけて暴れました。町内には昔から伝わる獅子舞がたくさんあると思いますので、今度は獅子舞の共演なんかもおもしろいと思います。やはり祭りは血が騒ぎますね。町内の若い女性も「みこしかつぎ」などで祭りに参加すれば、もっと盛り上がると思いますよ。



郷土芸能を守り続けて

白田 吉蔵さん (常盤)

水口弥十郎田植踊りは毎年8月17日の水口観音祭りで奉納しています。今回の夏まつりのようにたくさんの観客の前で踊る機会があるということは、保存会のメンバーも踊りがいがあります。地元以外の方たちにも郷土芸能を理解していただけるのでとてもよい企画だと思います。これからもこのような祭りをどんどん開催してください。



みんなが参加できる お祭りを

阿部 桂子さん (小原)

初めてりんごの町の夏まつりを見ました。花火がよく見えなかったことが残念でしたが、若い人からお年寄りまで老若男女の方たちがそれぞれに楽しんでいたように感じました。やはり「夜祭り」のつつい騒ぎたくなるような雰囲気がとても良かったと思います。欲をいえば、観客も一緒に参加できるお祭りであればもっと盛り上がると思いますよ。



新しい交流が生まれる フリーマーケット

鈴木みゆりさん (松程)

昨年のフリーマーケットを見て、これだったら私もできるかなと思い友達と出店しました。主に日用品を用意しましたが、だれも買わないだろうと思っていく品がどんどん売れていく様子には、驚きと同時にクセになってしまいそうな感じがしました。押し入れの整理にもなりますし、いろいろな人と知り合いにもなれるフリーマーケットをこれからも続けてください。



私たち町づくり実行委員会では一緒に楽しむ仲間を募集しています。お気軽に電話下さい。

〔連絡先〕代表 海野 健市 (☎67-7630)



支え合う心を感じたとき

今年は総勢五十八人にのぼる実行委員が汗を流した。みんなが汗を流して一つのものをつくりあげてきた。そこにはたくさんのつまずきがある。でも一つひとつをみんなでつくりあげるすばらしさを感じることができた。実行委員はみんな仕事や家庭を持っている。その合間を都合して集まっている。急に仕事が入ったり、手に負えなくなったりしたとき、助けてくれる実行委員の仲間がいる。みんなが避けたがる仕事も「だれもしないだろうから」と言って引き受けてくれる仲間もいる。裏方の仕事でほとんど祭りを見れない仲間もいる。暑い中ごろうさまと、アイスクリームを差し入れてくれる町民がいる。

町づくり実行委員会一同

リハビリテーション

施設を整備

町立病院改築工事



町立病院診療棟完成予想図

町立病院診療棟改築工事の安全祈願祭が七月二十八日現地で行われ、関係者らが工事中の安全を祈願しました。

この工事は老朽化の進んだ診療棟を二カ年に分けて改築する継続事業で、昨年度は外来診察室や手術室、最新鋭のCTスキャナーが導入された検査エックス線室などが整備されました。

今年度はリハビリテーション室や夜間救急患者処置室、外来玄関などが整備される予定です。その中でもリハビリテーション室は、これからますます進む高齢化社会に備え理学療法士の増員と最新のリハビリテーション器具を導入し、医療サービスの充実を図る計画です。また、病院前には五十台駐車可能な駐車場や、町営バスの乗り降りが玄関口でできるように整備されます。

建物は鉄筋コンクリート平屋建てで床面積約七百十五平方メートル。総事業費は約二億二千五百万円で、完成は来年三月を予定しています。



来年3月の完成にむけ工事が進められている



秋の訪れとともに、朝日自然観では赤トンボが優雅に自然を満喫しています。夏とはまた違う朝日自然観に足を運んでみてはいかがでしょうか。

ワインの森で ミニワインまつりはいかが！

暑くもなく寒くもない、とても過ごしやすい季節になりました。秋は「読書の秋」「スポーツの秋」「食欲の秋」と呼ばれています。そんな季節にピッタリなのが朝日自然観です。ブナの森に囲まれたコテージで読書にふけるのもよし、テニスコートで汗を流すのもよし。さらに食欲を満たすにはワインの森で

のバーベキューです。

コテージ村やテニスコートを見下ろしながら涼風に吹かれ、自然観ワインのグラスを傾けながらのバーベキューは、ミニワインまつり気分を存分に味わえます。また、近くには子供の遊具もあり、親子そろって楽しい一日を過ごせることをお約束します。

◆ご予約先／朝日自然観 (☎83-7111)





町道栄町前田沢線開通

平成7年度より改修工事が進められていた町道栄町前田沢線が完成し、8月12日開通に先立ち安全祈願祭が行われました。

完成した道路は、延長500メートル、車道幅8.5メートルで歩道には街路樹を植栽。総事業費は約3億3,500万円で整備されました。清野町長は「将来は交通量が多くなる道路です。交通事故が発生しないように安全運転を心掛けてください」と出席者に呼びかけました。



ふれあい荘増築工事起工式

特別養護老人ホーム「ふれあい荘」増築工事の起工式が8月4日、現地で行われました。

関係者約30人が出席する中、清野町長や鈴木理事長らが玉串を捧げ工事期間中の安全を祈願しました。

今回増築される施設は入荘者用30床、ショートステイ利用者用6床を増床するためのもの。鉄筋コンクリート平屋建てで床面積1,250平方メートル、総事業費は約4億円で完成は来年3月を予定しています。



1の5(左)と2の2(右)の出場選手のみなさん

町消防団が金賞を受賞

西村山消防操法大会

有事に備えたポンプ操法技術の向上をめざす、県消防協会西村山支部の消防操法大会が八月三日、大江町立左沢小学校グラウンドで行われました。

同大会は毎年開催されているもので、町からは小型ポンプの部に一の五(水本)と二の二(立木・白倉)が出場しました。両チームとも日ごろの訓練の成果を見事に披露し、紫色竿頭(金賞)を受賞。応援にかけつけた消防団員から盛んな拍手を受けていました。出場メンバーは次のとおりです。

■第一分団第五部
指揮者 高橋 和則
一番員 土屋 智
二番員 岡崎 正幸
三番員 高橋 寿之
補欠員 伊沢 正助
岡崎 重勝

■第二分団第二部
指揮者 阿部 光春
一番員 阿部 正樹
二番員 阿部 崇寛
三番員 古川 敏彦
補欠員 阿部 俊幸
阿部 清信

朝日町土地改良区 新総代決定

任期満了に伴う朝日町土地改良区総代選挙が八月十九日、二十日の二日間にわたり告示され、各選挙区の定数にそれぞれの定数だけ立候補し、無投票で当選されました。当選者は次のとおりです。(届け出順・敬称略)

■第一選挙区(中郷地区)

鈴木廣雄(西町)・海野武雄(助ノ巻)・渡邊勝男(元町)・今井虎雄(前田沢)・熊谷俊彦(新宿)・岡崎重勝(水本)・柴田隆(大滝)・鈴木正廣(雪谷)・鈴木春夫(雪谷)

■第二選挙区(大谷地区)

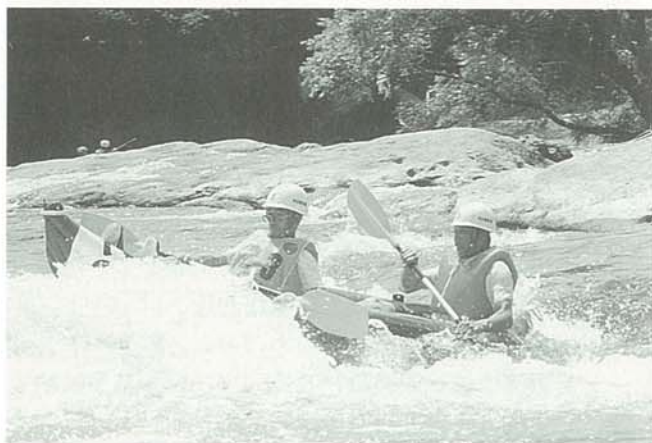
兼子正昭(大谷一)・鈴木孝一(大谷二)・渡邊勇(大谷二)・白田忠由(大谷三)・大谷秀雄(大谷三)・和田信由(大谷四)・白田正昭(大谷五)・長岡富夫(大谷五)・白田幸輝(大谷六)・小野昇一郎(大谷六)・五十嵐實(中沢)・武田信一(真中)・堀久雄(舟渡)・堀茂昭(舟渡)・遠藤茂(栗木沢)・遠藤秀明(栗木沢)・白田和寛(栗木沢)

■第三選挙区(三中地区)

志藤幸男(能中)・海野義明(能中)・志藤與四郎(能中)・阿部仁一(八ッ沼)・海野清一(八ッ沼)

まちの話題

まちの話題…① 最上川激流ゴムボート&カヌーレース大会



日本三大急流最上川の激流に挑戦

最上川ゴムボート&カヌーレース大会が8月10日、雪谷河原から明鏡橋下流までの約8キロのコースで行われました。

今年で2回目を迎えた同大会には、県内外からカヌーの部に21艇、ゴムボートの部に42艇が参加。絶好のボート

コンディションの中、花火を合図にカヌーの部から一斉にスタートしました。

通称「八天のガンガン」や「面白のダッキ」の難所では、絶妙なパドルさばきで激流を乗り切るカヌーや転覆したり浅瀬に乗り上げたりして四苦八苦するボートもいるなど力量はさまざま。

日本三大急流最上川の最激流地帯に果敢に挑んだ参加者に観客からは、盛んな拍手が送られていました。上位の入賞チームは次のとおりです。

◆カヌーの部

- ①コールCCV（畠山修一・山形市）
- ②コールCCI（鈴木政彦・河北町）
- ③CCウイング（後藤孝一・鶴岡市）

◆ゴムボートの部

- ①WING A
（秋葉徹・鶴岡市、本間透修・三川町）
- ②D・P・B
（鈴木竹美・雪谷、五十嵐文哲・本町）
- ③最上川フロンティアズ I
（志藤正紀・川通、長岡和之・大谷三）

まちの話題…③ 北部青年教室「味わい体験」

手づくりジョッキと地ビールで乾杯

北部青年教室「味わい体験」が8月17日、秋葉山交遊館で行われました。

これは8月1日から3回にわたって、陶器ピアジョッキ・地ビール・手打ちそばづくりに挑戦したもので、参加者17人にそれぞれの達人が指導に当たりました。

この日は手打ちそばから挑戦。達人の域に達したようなそばや、ラーメンのように縮れ短く切れてしまったそばがあるなどさまざま。打ちたてのそばを味わっていました。午後からは、各自が丹精込めてつくったジョッキを片手に、地元の名水で醸造した地ビ



ールで乾杯。参加者は即席ソムリエに変貌し、「苦すぎる」や「奥の深いまろやかな味」などと評価しながら舌鼓を打ち味わっていました。

まちの話題…② 西部スポーツ大会

スポーツで広がる交流の輪

西部地区スポーツフェスティバルが8月24日、健康増進センターなどを会場に行われました。

この日は、子供からお年寄りまで約670人が参加。グラウンドゴルフ、輪投げ、ソフトボール、インディアカの4種目が行われ、参加者はさわやかな汗を流していました。



まちの話題…⑤ 経営同根塾

経営術を学ぶ

経営同根塾が8月6日、町中央公民館で開催されました。

これは町の農・工・商業の経営者のみなさんが経営の原理原則を学ぶことで、21世紀に向けた経営学を培って欲しいと行われたものです。阿部宗一郎さん（常盤）が塾頭になり、約60人の塾生が参加しました。

この日は、日本銀行山形事務所長の上川卓苗さんが「当面の経済情勢について」と題し講演。その後、塾頭と下半期の経営動向についての対談が行わ



れました。

参加者は「消費税引き上げなどにより個人消費が落ち込みんでいます、この塾でしっかり経営術を学び生かしていきたい」と語っていました。

まちの話題…⑥ Asahi自然観ジャンボスイカ大会

巨大スイカが大集合

ジャンボスイカ大会が8月9日、朝日自然観で行われました。

5月から各家庭で栽培してもらった「ウクライナクロス」という品種のスイカを持ち寄ったもので、この日は38個が出品。小さいものでは4.5キロ、重いものでは37キロと大人でも持ち上げ



られないものもありました。

まちの話題…④ 町民農園

畑作業で心と体をリフレッシュ

秋葉山ときめき農園開園式が8月10日、秋葉山交遊館南側の現地で行われました。

今年初めて開園したもので、この日は全24区画中、申し込みのあった19区画の利用者が参加。関係者によるテープカットが行われた後、それぞれが管理機で畑を耕し心地よい汗を流していました。

参加者は「初めて畑を耕し楽しくてやめられなくなってしまいました。秋まき大根を植えたので、私の足くらいに太くなってくれたらおいしいかな」と冗談を交えながら話してくれました。



まちの話題…⑧ 3歳児健康診断

むし歯ゼロのお友だち

8月6日に行われた3歳児検診で虫歯ゼロのお友だちです。



阿部 勇太郎くん
(義則・西町)



齋藤 義朗くん
(義幸・杉山)



細谷 浩司くん
(秀明・宇津野)



村山 伸樹くん
(伸俊・常盤)



朽木 悠平くん
(昭博・太郎二)



白田 利和くん
(利悦・大谷五)



加藤 佑基くん
(正幸・大谷六)

まちの話題…⑦ 「りんごの樹」オーナー制抽選会

我が子のようにかわいがってね

「りんごの樹」オーナー（所有者）制抽選会が8月24日、秋葉山交遊館南側のオーナー専用園地で行われました。

オーナー制は今年初めて企画されたもので、リンゴの樹一本まるごと契約

し自分の手で各作業や収穫を体験するシステムです。収穫したリンゴはすべてオーナーのものになります。

この日はオーナー20組の内15組約40人が参加。真室川町から参加した大友光昭さんは「生きがいづくりで申し込みました。朝日町のリンゴは酸味があり歯ざわりも良くおいしいです。収穫が楽しみです」と語っていました。



みんな の ひろば



大町／
若月 信二さん
緑さん



さあ 新婚さん

3年前の7月20日は、信二さんと緑さんが初めてデートをした記念の日。その翌年、その日が梅の日に制定されたこともあって、「きっと忘れずにいられるだろうと入籍しました」と語るお二人。結婚式が1カ月先に予定されているため、ただ今準備にてんてこ舞いとのことです。

付き合い始めたきっかけは？と聞かれるのが一番の悩みという緑さんは、「思われて結婚するのが一番幸せかな」と思って結婚を決めたとか。一方、信二さんは、「若いころだったら緑の良さを分からずに付き合っていなかったと思うけど…」とさりげなくおのろけを聞かされました。

旅行が好きなお二人のハネムーンはヘイマン島へ。見かけによらずコツコツタイプの信二さんに旅行プランすべてを任せているとのこと。その調子でコツコツと幸せな家庭を築いてください。



夏まつりの反省会風景

すてきな
仲間たち

29

「町づくり実行委員会」

みんなで熱く燃えようぜ

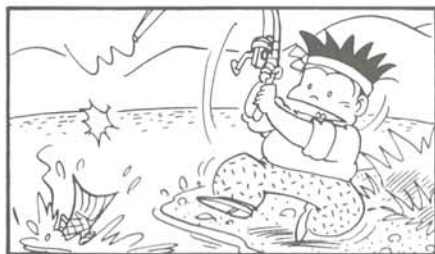
8月10日に宮宿商店街大通りで「りんごの町の夏まつり」がにぎやかに開催されました。これを主催したのが、私たち「まちづくり実行委員会」です。夏まつりは今年で2回目、全部手づくりで行っています。

そもそもは、町内の若者が中心になって町づくりイベントを計画し、地域の活性化を図ろうという趣旨の討論会から始まったグループ。名前も知らなかった者同士が今ではすっかり意気投合し、百年来の親友のように親しい仲間になりました。今後は若い人達にもっともっと加入していただき、芽が出たばかりのこの会が大きな木となって、明るく住みやすい町づくりに役立ちたいというのがメンバーの願いです。ぜひ、気軽にご加入ください。（代表 海野健市 ☎67-7630）

（ジャガイモ掘りをしたときに）
幼児「先生、おっきいジャガイモ掘ったよ」
保母「うん、そうだね。ほっぺより大きいね」
幼児「これで、スイートポテトつくっぺ」
保母「しゃれたお菓子覚えてるね。でも本当にスイートポテトなの？」
幼児「昨日、お友達の家でこちそうだったもん。ジャガイモってポテトだべ」
保母「うん・・・」



せんせい
大沼幼児学級
あ・の・ね



ひとことトーク

剣道に魅せられて

～剣道歴31年

六段の腕前～

渡辺 淳さん
(送 橋)

剣道を始めたきっかけは、小学校のクラブ活動でした。三十一年間続けてこれたのは、純粋に剣道が好きだったからだと思っています。

剣道の練習は大変厳しく、中学時代は水路に入って連続打ちや雪の上をはだして緑ヶ丘まで走り、チリ紙を飛ばして竹刀で切る練習をしていました。さらに厳しくなったのは高校時代で、想像を絶する練習内容に大変驚いたものでした。

現在は送橋剣道スポーツ少年団に指導していますが、厳しさよりも礼儀作法の大切さと、剣道の楽しさを分かってもらえればと思います。

剣道を通して多くの生涯の友を得ました。体を鍛えるだけではなく、人間そのものを大きくしてくれる剣道の魅力から逃れられそうにありません。

よくわかる「エコミュージアム」入門 ②

町民みんなが町の案内人

朝日町の町づくりの柱である「エコミュージアム」が、他の市町村でどのように進められているのか紹介します。

今回は千葉県富浦町のエコミュージアムです。ここは東京から特急で二時間以内の距離にある房総半島の海沿いの町です。この町も若者の都会への流出などで過疎化が進んでいます。

富浦町では、特産品の「ピワ」を中心として、地域にある歴史遺産としての大房岬や城跡、房州うちわなどの手工業、人形劇や昔話などの文化遺産を利用したエコミュージアムの町づくりを進めています。

朝日町と同様に富浦町でも「エコミュージアム研究会」が生まれ、その活動の基本として「富浦ウォッチング」という、町にある興味深い所の見学会をしています。漁港を訪ねて「漁師料理」をつくり自然公園の海岸を歩く、昔話を聞きながら昔の砲台跡を見学したり知らない古道を歩いたり、町の良いところ巡りをしています。

一方、町は「櫛とみうら」を設立し「道の駅・枇杷倶楽部」を造り、新しいアグリリゾート（農業体験観光）の実践を行っています。この施設はまさにエコミュージアムコアセンターで、町の特産品の販売や町の紹介、伝統工芸の体験などを行っています。町に分散している色々な場所への入り口にもなっています。

富浦町のエコミュージアムの特徴は、地域に分散している遺産を一カ所に集めて提供するのではなく、そのまま現地で提供し、しかも各々の自立経営で行うというものです。東京に近いという立地条件に恵まれた、農業活性化型エコミュージアムの例といえます。

(朝日町エコミュージアム研究機構)



みなさんからのお便りでつくるコーナーです。
町に対する意見や要望、楽しい話題、イラスト、
質問など待っています。

町民の声

いたずらでは済まされない

八 月の上旬ころだったと思い
ます。街路樹も植えてあり
周りの景色もすばらしい町道大
谷栗木沢線を孫と二人で散歩し
ていました。ふと何げなく足元
を見ると黄色の丸い反射鏡が壊
され、歩道に落ちていたのです。

しかも一本だけならまだしも、
秋葉山交遊館までの十数本が同
じように壊されていました。

私は直接壊しているところを
見たわけではありませんが、だ
れが見ても同一人物が故意に壊
したとは思えません。いたず
らにしては度が過ぎると思い町
民の声にお便りしました。

今後このような事件が発生し
ないよう、町民挙げて取り組ん
でいかなければならないのでは
ないでしょうか。【匿名希望】

答 お知らせありがとうございます
ます。大変ショッキングな
事件が発生し残念に思っている
ところです。この事件に関して
は、既に町でも状況を把握して
おり、被害調査を実施いたしま
した。

被害の状況は、国道287号
線栗木沢バイパスから町道大谷

栗木沢線に入った右側、道路と
歩道の間に建っている視線誘導
灯の反射鏡が壊されており、し
かも二十七本建っている内の六
割に当たる十六本が壊されてい
ました。

こうした公共物に対するいた
ずらは、今回だけでなく以前に
も発生しています。公衆トイレ
への落書きや備え付けの鏡の盗
難、公園へのごみの投げ捨てな
どがありました。しかしこれほ
ど悪質ないたずらは、今回が初

めてと思われます。
町では住みよい町づくりのた
め、道路や公園の整備をしてい
ます。しかし一部のマナー違反
者により、町民の財産が損なわ
れていることは残念なことです。
今後は関係機関と連携を密に
し、見回りを強化するなどして、
こうしたいたずらが発生しない
よう取り組んでいきたいと思っ
ます。

また、最近バイクや自転車の
盗難事件が発生しています。鍵
かけや保管場所についても再度
見直しをしていただくなど、町
民のみなさんのご協力をお願い
します。【建設課・生活福祉課】

また、最近バイクや自転車の
盗難事件が発生しています。鍵
かけや保管場所についても再度
見直しをしていただくなど、町
民のみなさんのご協力をお願い
します。【建設課・生活福祉課】



▶何者かによって無残に壊された反射鏡。いったいだれが……

(町道大谷栗木線)

図書券
が
当たる

広報
◆
クイズ



【問題】

①右の写真は日本三大急流最上
川で行われた「ゴムボート&
ヌ〇レース大会」

②西村山消防操法大会で見事金
賞に輝いた「一の〇と二の〇」

③町の動物は「〇モシ〇」

【応募方法】

正解を「広報あさひまち」の
折り込みハガキに書いて送って
ください。正解者の中から抽選
で三人の方に図書券をプレゼン
トします。また、答えの下に広
報の記事について感想をお聞か
せください。お願いします。

【八月号の答え】①三中②十八

③ヤマガラ

【応募者数】二十二人

【八月号の当選者】斎藤恵さん

(平)・佐竹美代子さん(八ッ沼)・

志藤清隆さん(川通)



すこやかに

(出生届)

区名	出生児氏名	保護者名
大谷一	菊地 将仁	秀樹
本町	松本 英大	敏行
宿	佐藤 慎晃	英幸
助ノ巻	海野 真理	正敏
前田沢	村山 諒真	光彦
送橋	清野 亜紗美	精一



おしあわせに

(婚姻届)

志藤 和徳	増子 良江
(大町)	(埼玉県)
鈴木 利光	梁 月子
(宿)	(韓国)
志藤 義彦	細谷 梨絵
(能中)	(上山市)
大滝 俊一	李 榮蘭
(下芦沢)	(韓国)
阿部 幸司	五十嵐 志保
(常盤)	(山形市)



やすらかに

(死亡届)

区名	死亡者氏名	世帯主
舟渡	堀 キン	遠藤与志雄
太郎三	長岡 玉治	澄子
大谷七	村山 きの	誠一郎
西町	松浦 庄蔵	民男
四ノ沢	岩本 定見	本人
栄町	阿部 啓吾	本人
新宿	佐藤 洋三	啓
前田沢	阿部 きぬに	忠志

●掲載を希望しない方は、お届けの際にお申し出ください。

人口と世帯数

●平成9年8月31日現在

人口	9,893(増5)
男	4,916(増1)
女	4,977(増4)
世帯数	2,587(増1)
	() 内前月比

ニール先生の ハロー朝日町



I have now been in Japan for one year and during that time, I have eaten many wonderful foods for the first time. I have eaten fermented soya beans, grasshoppers and baby bees and found them all to be very tasty.

I have also learnt the importance of considering how food looks and feels in the mouth when preparing a Japanese meal, and I am now used to using a hot towel to wipe my hands, and saying "itadakirasu" and "gochisosamadeshita" when I start and finish eating.

In England we only use oshibori when eating in a Japanese, Chinese or Indian restaurant. Instead we wash our hands in the sink before the meal. Many Christian people say "Grace" before eating. This is a short prayer of thanks to God for the delicious food.

日本に来て1年になりますが、これまで初めて口にすると多くのすばらしい食べ物に出会いました。発酵した大豆(納豆のこと)やイナゴ、ハチの子などを食べましたが、すべて大変おいしいということが分かりました。また、日本の食事を準備するときは、その食べ物がどんなふうに見えるかとか口の中でどのように感じられるかを考えることが大切だということも学びました。そして今は、手をふくために温かいタオルを使うことや、食べる前と後に「いただきます」や「ごちそうさま」と言うことに慣れました。

イギリスでは、日本料理や中華料理、インド料理のレストランで食べるときだけおしぼりを使います。おしぼりを使う代わりに、イギリスでは食事の前に流しの中で手を洗います。多くのキリスト教徒の人達は、食べる前に「お祈り」を言います。これはおいしい食べ物について神に感謝する短いお祈りです。



●今、家がかつてのハムスターが病気になって苦しんでいます。将来私が獣医になって、病気の動物を治療して助けてあげたい。



●ぼくの夢はプロ野球選手。ジャイアンツの松井秀喜選手のようになりたい。そして大リーグで野茂に挑戦してみたい。



●今、家がかつてのハムスターが病気になって苦しんでいます。将来私が獣医になって、病気の動物を治療して助けてあげたい。



●ぼくの夢はプロ野球選手。ジャイアンツの松井秀喜選手のようになりたい。そして大リーグで野茂に挑戦してみたい。

夢

今月は立木小学校五年生です

かなしいかな

●ばあちゃん足が悪くて歩くことが大変なので、大きくなったら医者になって足を治してあげたい。それまで元気に長生きしてね。

●いろいろな言葉が学べて世界各國に行けるスチューワーデスになりたい。ドラマのスチューワーデスは頼りがいがあり、とてもかっこよかった。



●入選 「りんご温泉より朝霧望む」

■撮影者
川越 久雄さん（寒河江市）

早朝作業に行く途中のこと。四ノ沢の坂道を上りあげたところで、いつもの通勤風景にはない、間近に雲海を見るような幽玄の世界に浸ることができた。

（りんご温泉より ニコンF801使用）



縁起物だといいですね
能中の鈴木定治さん方では、庭のクリの木に季節はずれの花が咲き、近所の話題になっています。奥さんのたけ子さんは「五月末に花が咲き、熟すのを待つだけ」というときに突然開花しました。植えてから四十年になりましたがこんなことは初めて。三中トンネルの開通を祝って咲いてくれたのでしょう」と語ってくれました。

▼おわびと訂正

本紙八月号の十五ページ「くらしの知恵袋」で、材料に誤りがありました。材料は次のとおりです。おわびして訂正いたします。

《材料》トマト八個・タマネギ二個・ジャガイモ三個・ニンジン二本・夕顔二分の一・豚バラ肉三百g（調味料は訂正なし）

今月号の特集は、りんごの町の夏まつりを取り上げてみました。この祭りの特徴は、これまでのような行政主体のイベントではなく、町民のみなさんが企画から運営まですべてを行っていることです。昨年はコンサートとフリーマーケット。今年は郷土芸能の共演と花火大会、フリーマーケットと着実に手づくりイベントの良さが表れてきているように感じます。

春 夏 秋 冬

編集後記

観客のみなさんに夏まつりの感想を聞いてみると、「すぐ人が集まったよね。活気があっておもしろかったよ」といったことなど。実行委員のみなさんにとってこれらの言葉は、どんな励ましの言葉より勝るものなのではないでしょうか。来年はどんな新しいアイデアで夏まつりを盛り上げてくれるのか、これから楽しみにしていきます。